

TP



ユニークな授業 徹底解剖！

キャリア・デザイン

サインデザイン演習

和漢医薬学入門

富山大学学

地域とつながる学びの場

ユニークポイント

自らの意見や考えを持ち、伝える力を。

本講義では、新聞という『生きた教材』を活用して読解力と表現力を養い、コミュニケーション能力向上につなげてもらうことを主眼に置きました。相手の話を理解的に射た受け答えをするというコミュニケーションの基本動作とニュースの本質を見極め、不特定の人たちに分かりやすく伝える新聞記事の類似性などについてお話ししました。



北日本新聞社 人事部長 黒田 哲也さん

私たち外部講師は学識者のように専門知識を教えることはできませんが、実際に企業で働いている強みがあります。日々の企業活動の中で感じること、社会経験を積むにつれて見えてくるもの、現場でしか得られない情報や空気感を伝えることができます。やがて社会に出る学生にとって、教科書に書かれていない生きた情報は就職活動、さらにはその後の長い社会人生活の中できっと役立つ場面があるのではないかと思います。

外部講師による「業界の話」が聞ける!

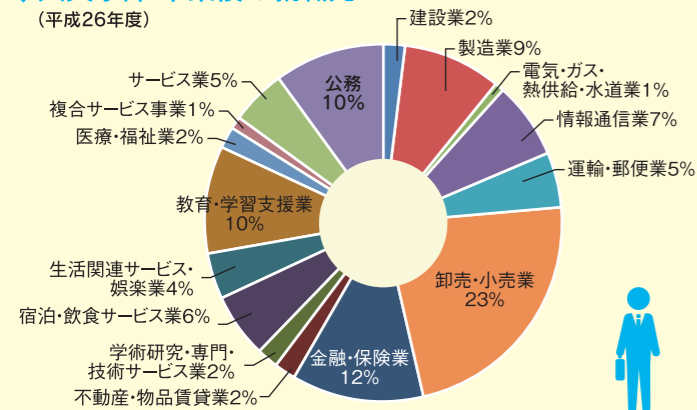
授業の一例

- ◆【イントロダクション】  
キャリアデザインって? 自分の進路をどう考える?
- ◆【どうする? 職業選択】
- ◆【就職活動の流れを知ろう】
- ◆【ワークライフ・バランスと男女共同参画】
- ◆【グローバル人間になろう】  
世界へ一歩踏み出そう!
- ◆【大学生のためのマナー講座】  
大学生の常識は社会人の非常識?
- ★【仕事と職業を知ろう】  
新聞業界の話 (講師: 北日本新聞社 人事部長)  
放送業界の話 (講師: NHKアナウンサー)  
ホテル業にみる「おもてなしの精神」 (ホテルニューオータニ総支配人)  
その他、製造業・小売業の話、銀行の話など
- ★【人文学部生への応援歌】  
人文で学んだことの活かし方 (人文学部卒業生)

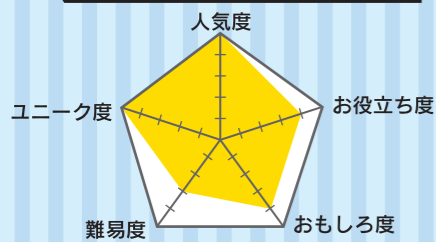


新入生キャリアガイダンス

人文学部 卒業後の就職先 (平成26年度)



授業のユニーク度分析



講師が回によって変わり、様々な企業や団体の方々のお話が聞けます。自分が興味ある分野に限らず、幅広い知識が得られ、私自身も、社会貢献の形が多様であることを知りました。進路選びに迷う前にぜひ受けてほしい授業です。

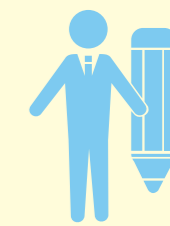
内山大輝さん (人文学部 ヨーロッパ言語文化コース3年)

大学では、いったいどんな授業が行われるのか。新入生にとっては、一番気になるところです。そこで今回は、「そんな授業もあるの!?!」というユニークな授業を選んでクローズアップします。



close up! 01

人文学部 キャリアデザイン



4年後の自分をイメージしながらステップアップ!

4年次 就職活動支援  
キャリア・デザインの仕上げ

3年次 「インターンシップ・プログラム」  
就業体験を通して「働く」を再確認し、自分自身をもう一度見つめ直す

2年次(後期) 「キャリア・デザイン演習」  
少人数ゼミで様々な進路・職業・企業等についての分析や研究を行う

1年次(後期) 「キャリア・デザイン」  
能力や適性を活かし、人生全般を見渡したキャリア・デザインについて考える

働くこと、生きること、一人ひとりが考え、学ぶ。将来、どんな仕事に就いたらいいかわからない。「卒業後? 具体的には考えてない」。そんな学生は意外に多いもの。人文学部の「キャリア・デザイン」は、大学卒業時の就職や進学だけでなく、その先何十年と続いていく生き方の全体を「キャリア」としてとらえ、一人ひとりが自分にとっての働き方や生き方を深く考えていく授業です。

授業計画には「人文学部での研究・勉強の成果を職業に活かす」のほか、「仕事と職業を知ろう」をテーマにした外部講師(銀行、新聞社、放送局、製造業・小売業などさまざまな分野で活躍する方々)による講義も盛り込まれています。学んだことが仕事の面で、あるいは豊かな人生設計にどう生かせるかが分れば、日々の学びの意欲も高まるはず。目指す道筋が見えてくれば、目的を持った履修選択も可能になってきます。

ちょっと気になるプログラムとして挙げたいのは、「大学生のためのマナー講座」。例えば、最近増えてきた「普段着面接」に何を着ていくか。帽子着用のままで講義を受けるのはOKかNGかなど、「大学生の常識は社会人の非常識?」をテーマにした興味深い講義で社会人基礎力を身につけます。

キャリア・デザインというと就活に特化したイメージを抱きがちですが、職業選択を含めた人生そのものを考えることが目標。特に人文学部の場合、社会でどう役立つのかを等身大で語ります。

人文学部卒業後の就職先(※グラフ)を見ると、業種は多岐に渡っています。「これだけの幅広い進路があり、可能性があることを知ってほしい」と中島教授。人文学部の強みは語学。世界を視野に入れた仕事もできるし、海外の観光地に行けば歴史的な背景や文化などいろいろな楽しみ方ができます。納得のいく人生を設計するための授業は1年後期からスタート。段階的なプログラムを通して、「なりたい自分」を考え、学び、実践していきます。



ユニークポイント

私のデザインが採用されました!

「世界遺産バス」をラッピング

デザインのテーマは「ごかやまのかご」。養蚕ようさんに使うかごを見た時「模様にしたら面白い」と思い、繭のかごに揺られて五箇山へに向かう旅を演出できたらと考えました。実は授業内のオリエンテーションで、武山先生からフランスの世界遺産モンサンミッシェルのバスデザインに関する解説があって、風景にすとなじむシンプルさに影響された部分もありますね。



芸術文化学部4年 山本美智さん

プレゼンは緊張のひとつでした! 「ネガティブイメージは禁物。自信を持って伝える」と教わったのですが、やっぱり難しいです。採用が決まった時は、もちろんうれしかったですが、「美智さん、やったね!」とみんな自分のことのように喜んでくれたんです。そんな仲間の存在も、ものづくりの刺激になる。そんな授業です。



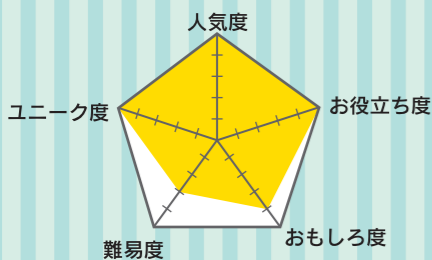
プレゼンテーションの様子



新高岡駅を走るラッピング車両



授業のユニーク度分析



芸術文化学部の授業は地元の動き(北陸新幹線開通・五箇山世界遺産登録20周年など)に合わせて、何かしよう! デザインしよう! という勢いがあります。授業を通して学生がまちを盛り上げることが出来るのが、この授業の一番の魅力です。

児玉由佳さん (芸術文化学部 デザイン情報コース4年)



全員で投票し候補を絞り込み



学内での授業成果展示



各自CGでデザインを制作



各自CGでデザインを制作



五箇山の相倉集落では合掌造りの民家内部を見学、暮らしぶりについての説明を受けた



関係者を招いてのプレゼンテーション。各自、企画やデザイン意図について説明を行った

close up!  
02

芸術文化学部

サインデザイン演習

地域と連携した授業が 芸術文化学部の大きな特徴。

高岡と五箇山・白川郷を結ぶ観光路線バス「世界遺産バス」のラッピング車両が3月10日から運行しているのをご存知ですか? 実はこのバス、五箇山・白川郷の合掌造り集落の世界遺産登録20周年を記念して、富山県と芸術文化学部が連携し、「サインデザイン演習」の履修生によるコンペティションで選ばれたデザインです。

授業では、デザインの前段階として五箇山の現地調査を実施。ラッピング車両となるバスに乗って、視察に向かいました。五箇山・相倉合掌集落を訪れた学生たちは、合掌造り内部の見学や五箇山での暮らしについてレクチャーを受け、デザインのテーマづくりに取り組みました。初めて目にした民具、真っ白な雪景色、集落の凛とした静けさ、旅の高揚感など、それぞれに発想のヒントを得たようです。

「このような情報を取り上げることが、五箇山らしさにつながるか。そのデザインは利用者に対してわかりやすく、かつ魅力的であるかどうか。授業ではこういった、より広い「情報」のデザインに力を入れていきます」と武山良三教授。「サイン」は案内標識や看板などの表示を意味しますが、「サインデザイン」の領域は表示面やモノのデザイン、パッケージ、インテリア、建築、景観デザインや街づくりなど、私たちの生活を取り巻くすべてに深く関わってくるからです。

授業ではデザインソフトを使い、思い

いのコンセプトでデザインしていきます。ある学生は、五箇山の風景の中を走るバスをイメージしながら、またある学生は、集落に咲く花をバスの車体に描くなど、さまざまなサインデザイン制作に取り組みました。気になるデザインコンペの審査員には、世界遺産バスを運行する会社や県をはじめとした各自治体の関係者のほか、第一線で活躍する環境デザイン会社のクリエイティブディレクターも参加。学生たち自身も審査員として選出に加わりました。

審査員の前で、いかに魅力あるプレゼンテーションができるか。デザインコンペは、まさに生きた学びの場。プレゼンすることも、審査に加わることも貴重な体験になります。

採用されたのは、山本美智さん(4年)の作品。高岡銅器をイメージした淡いプラウと山里の緑で描かれたクラテーション、養蚕のかごから発想した柔らかなライン、文字の配置なども高く評価されました。「自分の手がけたデザインのバスに乗って旅行を楽しんでもらえたら、とてもうれしい」と話す山本さん。今回取り上げた世界遺産バスのラッピングデザインのように、「地域と連携したさまざまな授業を導入しているのも芸術文化学部の大きな特徴です。」

学生は課題を通してCGでのデザイン制作の技術を習得するとともに、地域社会の中で反映される、緊張感のある場での発表を行うことで、自らの思いを伝える技術を学んでいます。



ユニークポイント

実習のノウハウを詳述した独自の教科書を使用

「和漢医薬学入門」では富山大学独自の教材が使われています。文部科学省は2001年に医学、02年に薬学の分野で「モデル・コア・カリキュラム」を公表し、医師・薬剤師教育において和漢薬を概説できる知識の習得を求めました。これにより、医学・薬学の教員が総力を挙げて執筆・編集作業にあたったのが、今日まで使用している教科書です。

座学によって得られる知識だけでなく、実習の手順を図や写真を交えて具体的に詳述しており、たいへん分かりやすい内容です。教科書の中には富山大学が長年、和漢薬研究に携わってきたからこそ蓄積できたノウハウが詰まっており、学外では販売されない「門外不出の書」でもあります。他大学の研究者から「販売してほしい」と依頼を受けることもあるほどです。



【医薬品の供給資源としての薬用植物】 杉谷キャンパスの薬用植物園には医薬品の原料となる植物が栽培されている



【漢方医学診断】 講義を聞く医学部・薬学部の学生



【民族薬物資料館見学】 民族薬物資料館には約28,000種類の生薬標本が保存されている

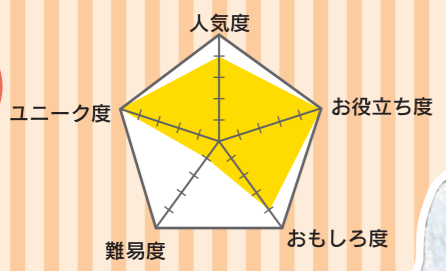


【漢方煎剤の調製と生薬成分分析】 漢方煎剤を調製し、生薬成分を分析する



授業のユニーク度分析

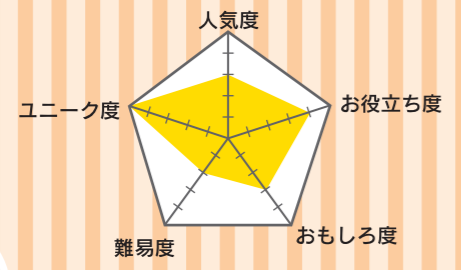
医学部生



森 勇人さん (医学部 医学科2年)

漢方薬を煎じたり、薬用植物園を見学したりと普段できない経験ができる授業です。漢方薬の最先端で研究されている先生方の指導のもと、実験や観察をすることで、漢方をより身近に感じながら勉強しています。

薬学部生



前坂 未紀さん (薬学部 創薬科学科2年)

今までほとんど学んだことがなかった和漢の分野。実際に飲んでみたり、四診をしたり、体験しながら学べて楽しいです。初心者でもきちんと理解しながら学べますし、将来の選択肢も広がると思います。

和漢医薬学入門

医学部・薬学部

東西医薬学の融合と境界 医・薬・看護の視点から理解

「和漢薬? 葛根湯くらいしか知らない」「慢性疾患には有効だと思っけれど、即効性はあるの?」。医師・看護師・薬剤師・薬学研究者を目指す学生でも、入学当初は和漢薬について、それほど深く理解していないかもしれません。しかし、杉谷キャンパスで開講されている「和漢医薬学入門」を履修することで、基礎から臨床までの知識を体験的に学ぶことができます。「薬部・富山」の教育・研究拠点である富山大学ならではの、特色ある授業の一つです。

今日、多くの大学では医学部は附属病院と併設され、薬学部は別の敷地に施設があるというケースが一般的です。したがって、富山大学のように医学部と薬学部の学生が同じキャンパスで学べるということは、大変恵まれているといえるでしょう。この環境をカリキュラムに生かしたのが「和漢医薬学入門」です。

また、富山大学は再編統合前の富山医科薬科大学の時代から、東西医薬学の融合を教育・研究のテーマとしていました。明治期以降、医薬学は急速に欧米化しましたが、西洋医学ではなかなか完治しにくかったり、患者への負担が大きかったりする疾病の治療については、東洋医学が有効な場合があります。このようなケースについて、「富山大学出身者なら詳しいはず」と助言を求められるような人材の育成を担っているのです。

具体的には、漢方診断や生薬・和漢薬などについて4回の講義で基礎的な知識を身に付けた後、実習に入ります。民族薬物資料館で生薬標本や漢方薬に触れ、生薬の鑑定と薬効成分の確認方法を学び、漢方薬による治療効果を解析する

など、7回の実習を行います。そして終盤4回の講義では、臨床医や最先端の研究に携わる研究者から、更年期障害や認知症など臨床で実際に用いられる漢方薬について、その薬理作用を学びます。特徴としては、医学部(医学科、看護学科)と薬学部(薬学科、創薬科学科)の学生が入り混じって一つのグループとして実習を行うことが挙げられます。チーム医療のトレーニングを2年生の段階で実施しているといえます。和漢医薬学総合研究所の小松かつ子教授によると、「同じ実習をしても見方は三者三様。受講後に感想文の提出を求めると、医学科の学生は臨床の視点で、看護なら医食同源などを考えるなど栄養面に理解を深め、薬学は並行して学んでいる西洋薬剤との共通点や相違点などへの考察がある」と指摘しています。卒業後に実践できる和漢医薬学を体得しているといえるでしょう。





close up!  
特集  
ユニークな授業  
徹底解剖!

close up!  
05

地域と繋がる学びの場

日々、勉学や研究に勤しむ富大生ですが、キャンパスの中だけが学びの場ではありません。キャンパスを飛び出し、地域の中でも自らの専門を生かした活動を行っています。



① アメイジングナイト  
「はじまりのひかり」

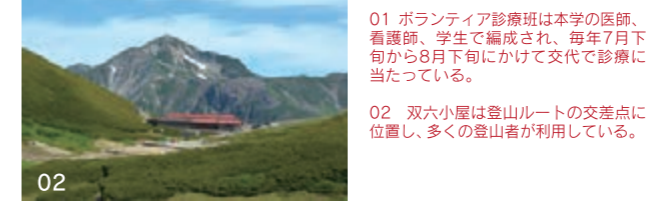
3月に開催された「アメイジングナイト」は「はじまりのひかり」では、富山城や総曲輪グラウンドプラザなど、富山市内電車の環状線沿線で様々なイベントが行われ、北陸新幹線開業でにぎわう春のまちなかが「ひかり」によってメイクアップされました。本学の学生もイベントに参加。工学部の専門科目「知的システム」を受講した学生が、授業内で行ったブレゼンテーションの内容を基に春休みの期間を利用して制作を進め、本番でのライトアップを行いました。



01 02 本学の工学部生が制作したLED/バルーンによる松川ライトアップ。大小300個のバルーンを用意し、自動で7色に発光するLEDを風船内部に入れ込んだ。  
03 イベントでは松川ライトアップの他、環状線「セントラム」のライトアップや、富山城の城壁に合わせたプロジェクション・ライティングが行われた。

② 双六小屋診療所

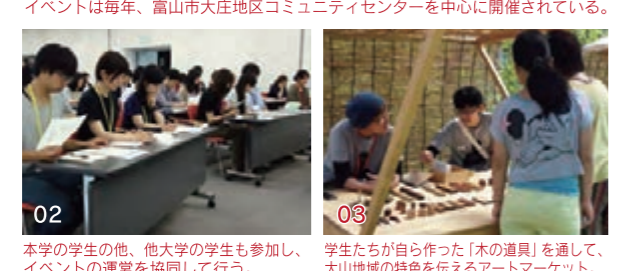
岐阜県高山市の双六小屋は双六岳と横沢岳に囲まれた水の豊かな山小屋で、小屋やテント場からは美しい自然の風景を眺めることができます。登山の大衆化に伴い、山岳事故の件数も増加しており、本学の山岳会も地元の山岳遭難救助隊からの参加要望に応えるべく、最も登山者の多い夏山の期間中にボランティア診療班を編成し、双六小屋敷地内の診療棟で登山者の安全を図っています。



01 ボランティア診療班は本学の医師、看護師、学生で編成され、毎年7月下旬から8月下旬にかけて交代で診療に当たっている。  
02 双六小屋は登山ルートの交差点に位置し、多くの登山者が利用している。

③ LIVING ART in OHYAMA

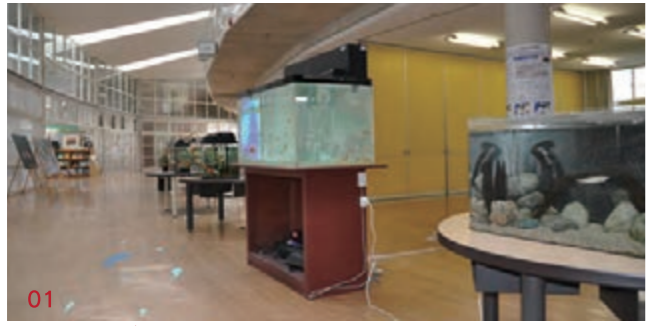
富山市大山地域では、「都市と自然が共生するまちづくり」の推進を目指して、平成13年度から「森」の大切さを再認識することを目的として、「木と出会えるまちづくり」事業を展開しています。その事業の一環として、豊かな自然を大切にすることを責め、自然との「共生」、人との「交流」、芸術文化の「創造」が体験できる「LIVING ART in OHYAMA」を毎年8月に開催しています。今年で13回目の開催となる同イベントには、これまで芸術文化学部の学生がサポートスタッフとしてイベントの運営に関わってきました。平成26年度よりプロジェクト授業として単位化が図られ、参加学生はスタッフの一員としての責任を自覚しながら、割り当てられた担当の仕事を通してコミュニケーション力や実行力を養い、イベントの運営について学んでいます。



01 イベントは毎年、富山市大庄地区コミュニティセンターを中心に開催されている。  
02 本学の学生の他、他大学の学生も参加し、イベントの運営を協同して行う。  
03 学生たちが自ら作った「木の道具」を通して、大山地域の特色を伝えるアートマーケット。

④ ひみラボ  
(富山大学理学部・氷見市連携研究室)

ひみラボでは、富山大学理学部と氷見市との連携協力に関する協定に基づき、2011年3月末に閉校となった氷見市立仏生寺小学校の施設を活用して、2011年4月から「地域の豊かな自然を守り、その豊かさを広く活用・発信していく」ことを目的に「氷見市や周辺地域をフィールドとして、研究教育、そして自然と触れ合う活動を行っています」。施設は本学の講義や他大学と合同でのセミナーの開催など大学教育の場として活用されています。また理科教室「ひみつ子ラボ」など、中高高校生や地域住民を対象とした様々なイベントを開催するとともに、施設内に「ひみラボ水族館」を開設し、地域に生息する生物の展示や研究内容のパネル紹介、飼育体験など、来訪者が自由に見学・学習できる場を提供しています。



01 施設内には水槽が設置され、周辺の河川に生息する生物や再現された生息環境を観察することができる。



02 地元の小学生と周辺の河川調査。指導に学生も加わる。



03 施設は学生実習にも使用されている。



## 求められるリーガルマインド 法的に物事を考える姿勢を

「刑事事件とは一生無縁だとは思われない。日常生活の中で犯罪に巻き込まれる可能性はある」と強調する八百講師。道路交通法、ストーカー規制法など、不注意や誤解から法律に抵触してしまうことは少なくない。突然、被害者になったり、加害者にされたりすることも……!? 裁判員制度が導入されて以来、裁く側に回る可能性も生まれた。公務員志望の学生が多いという点でも、富山大学で法律を教える意義と責任は大きいと肝に銘じている。

法学に関心を持ったきっかけは、FBI捜査官が主人公の米国の人気テレビドラマ「Xファイル」。「犯罪捜査にとっても興味をおぼえました」と振り返る。大学では刑



刑事訴訟法について講義する八百講師

事訴訟法を専門とする担当教員のゼミに入り、「将来の夢」は警察官から研究職に変わったが、刑事事件が関心の対象であることには変わりなかった。現在も、授業の中に裁判所や刑務所の見学を取り入れるなど、学生にも犯罪や刑事事件と向き合う機会を提供している。

**関わった人全員が納得できる刑事裁判を**

現在の専門は「刑事訴訟法」。犯罪と刑罰に関する規則を定めたのが刑法であり、刑事訴訟法では刑法に基づいて実際にどのような手続きを踏んだうえで有罪／無罪や刑罰を決めていくのかの手順を示している。現在の研究テーマは「訴因論」だ。有罪／無罪や刑罰を決める基本となるのが、犯罪が起った日時、場所、方法によって罪となる事実を特定する「訴因」である。

難解な法律用語を離れて「訴因論」の重要性を説明すると次のようになる。殺人事件の裁判では、動機や犯罪が起った背景、被害者との関係性などに目が向く。報道が過熱すれば、なおさらその傾向は強い。しかし、訴因つまり犯罪事実のみにまず集中しなければ、有罪か無罪かは判断できず、また正しい量刑も決定できなくなり、公正な裁

判にならないのである。感情論を排除すべきという点は、刑事裁判の永遠のテーマかもしれない。

刑事裁判に関わる人、つまり裁判官・検察官・被告人・弁護人や裁判員となった市民はもちろん一般市民までもが、「この被告人にはこの程度の量刑がふさわしい」と納得できることが理想である。被告人は納得して初めて、更生の道を歩み始めるからだ。

市民が「公正な視点を持つためにも」法教育を小学生くらいから導入すべき」と八百講師。そこには「リーガルマインド、つまり法的に物事を考える姿勢を早くから育てることが必要」という強い思いがある。「法律があるから守る」ではなく、「なぜ定められたのか？」から物事を考えること。この視点を富山大学の学生にも求めている。



経済学部経営法学科  
講師

### 八百 章嘉

やおあきよし

刑事  
訴訟法を  
考える

### NEWS PICK UP!

#### エコキャンパス推進学生 感謝状贈呈式を挙行

5月13日、エコキャンパス推進学生感謝状贈呈式が開催されました。エコキャンパス推進学生感謝状贈呈式は環境内部監査をはじめ、環境塾、環境マネジメント部会、その他自主的な環境配慮活動などを通じて、本学の環境向上に貢献した「エコキャンパス推進学生」15名に対し、学長より感謝状を贈呈するものです。贈呈式では野崎環境安全推進センター長から、出席者7名に感謝状が授与されました。贈呈式後には懇談会が開催され、野崎環境安全推進センター長司会の下、学生達から環境内部監査に参加して感じたことや、気づいたことなどを発表してもらい、大変有意義な会となりました。



前列 エコキャンパス推進学生、野崎環境安全推進センター長  
後列左から、松谷環境安全推進センター副センター長、  
鷹西施設企画部長、永田施設企画課長

#### ほくぎん若手研究者 助成金贈呈式を開催

5月27日、五福キャンパス事務局において「ほくぎん若手研究者助成金」贈呈式が開催されました。この助成金制度は北陸銀行との包括的連携協力に関する覚書に基づく具体的連携事業の一つとして、本学の優秀な若手研究者の育成を通じて学術研究の発展に寄与することを目的に創設されており、今年度は各分野から計7名が採択されました。



北陸銀行 谷内常務執行役員  
(左) から採択者決定通知を  
贈呈される二階堂理事 (右)

|                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| (採択者)                 | 松本 惇平 助教 (大学院医学薬学研究部)  |
| 池田 丈佑 准教授 (人間発達科学部)   | 福地 守 助教 (大学院医学薬学研究部)   |
| 迫野 昌文 准教授 (大学院理工学研究部) | 杉本 健士 准教授 (大学院医学薬学研究部) |
| 高崎 一郎 准教授 (大学院理工学研究部) | 當銘 一文 准教授 (和漢医学学総合研究所) |

#### 富山県と富山大学との連携に関する知事と学長の会談を開催

5月29日、富山県庁において富山県と本学との連携に関する県知事と学長の会談が開催されました。本学からは遠藤学長の他、神川理事・副学長、鈴木理事・副学長が出席し、富山県からは石井知事、渋谷教育長、山崎知事政策局長が出席しました。この会談は2010年9月に本学が開催した地域連携事業「コラボフェスタ2010」で学長と県知事が出席したシンポジウムにおいて、両機関のトップ同士が率直に議論できる機会を作りたいという提案があり実現されたもので、2011年から毎年開催されています。会談は教育、産学官連携、医薬関係、災害対策、芸術文化関係、地域・ものづくりの6つのテーマについて行われ、本学卒業生の県内企業への就職や地方創生の推進について具体的な意見が交わされました。



#### アンケートに答えて

### 富山大学オリジナルグッズをGET!!

「Tom's Press」をより良くするために、ご意見・ご要望をお待ちしております。平成27年8月31日(月)までに下記項目にメールでご回答いただいた方の中から抽選で富山大学オリジナルグッズをお送りいたします。どしどしお寄せください。

#### 【回答項目】

- ①本誌を読んだきっかけ(「オープンキャンパスで配布された」、「〇〇(施設名)に置いてあった」など)
- ②本号で興味を持たれた記事とその理由
- ③表紙デザイン、誌面構成、内容など全体的な感想または印象
- ④関心・興味のある分野、これから取り上げてほしいテーマ、その他ご意見・ご要望

#### 【メール送付先】 catch@adm.u-toyama.ac.jp

上記回答項目①～④についてメール内にてご自由に記述願います。また、オリジナルグッズの送付をご希望の際は、お名前・ご住所を併せてお知らせください。

ご記入いただいた個人情報は、広報誌の発送以外には一切使用いたしません。また抽選結果は発送を以て代えさせていただきます。



(※お送りする富山大学オリジナルグッズは写真と異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。)

#### YouTube 富山大学公式チャンネル



YouTube富山大学公式チャンネルでは「Tom's TV」、「富山大学ヒストリア」などテレビで放送された映像や富山大学ムービーを視聴することができます。ぜひご覧ください。



公式チャンネル  
はこちら!

#### YouTube 富山大学公式チャンネル

<https://www.youtube.com/user/tomidaimovie>

各キャンパスでいきいきと活動する  
クラブ・サークルをピックアップ!

## 富山大学五福キャンパス大学祭運営委員会

今年のテーマは  
「party」!



今年も富山大学随一のイベントである、「富大祭」の時期が近付いて参りました! 開催日は10月10日(土) 11日(日)! 今年のテーマは三ヶキャンパス合同で「party」です。このテーマには『みんなでワイワイ楽しく大学祭を作り上げる! 来場者の方々とのつながりを大切に、一人ひとりに特別な時間と特別なおもてなしを提供したい。』といった意味が込められています。みなさんも一緒に富大祭を成功させましょう!!

今年も多数のステージ企画を用意しています! ミス&ミスターコンテストやクイズ大会など面白い企画が盛りだくさんです!! もちろん恒例の部活、サークルによる模擬店や、地域の方々によるフリーマーケットなども多数出店されます! どのような模擬店でメインストリートを賑わせてくれるのでしょうか? 考えるだけでワクワクしますね! 毎年個性豊かな企画が出そろそろ屋内企画にも注目です! 乞うご期待!!

## Art For All

美術を通して  
地域交流!



こんにちは、Art For All、通称AFA(アフア)です!  
地域の人と美術を通して交流することを目的に、楽しく作品づくりをしてもらえるようなワークショップなどを企画、運営しています。これまで、小学生や親子連れを対象に、モビールやキーホルダー、フォトフレームをつくるなど、比較的簡単な内容のものを、素材や作りかたを工夫して行ってきました。今年はもう少し高い年齢層もターゲットにしようと考え、10月にある創己祭(高岡キャンパスの大学祭)でもワークショップをするので、ぜひ参加しに来てください!!

活動は週1回、イベントに向けての話し合いや準備をしています。個人で制作する作品とは違い、他者と関わることで得られる発見があったり、共に作品を作り上げることにやりがいを感じられたりします。興味のある方、お待ちしております。美術(Art)をさまざまな人のために(For All)生かしてみませんか?

## 杉谷キャンパス 陸上競技部

西医体  
男女総合5連覇達成!



こんにちは! 陸上競技部です! 陸上部は現在、部員数約50名の大人数で、練習や大会、各イベントなど、いつも楽しく活動しています。全国大会(全日本インカレ)に向けて練習する人や、ハーフマラソンなどの完走を目指してジョギングをする人など、様々なレベルの選手がいます。

杉谷(医薬系)キャンパスで一番強い部ってどこ? 成績すごい部ってどこ? そんな質問に誰もが間違いなく「陸上部!!」って答えるでしょう。

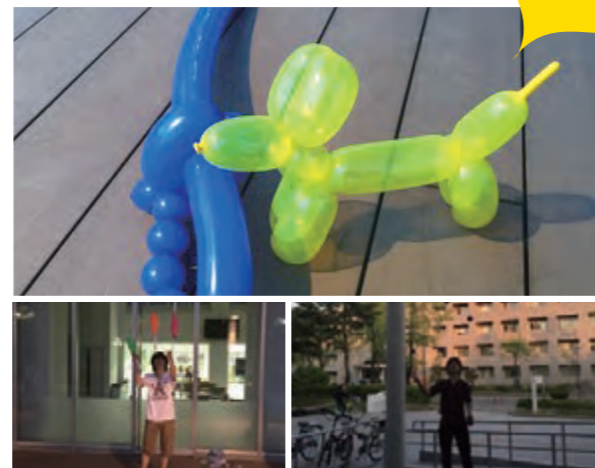
陸上部は現在、西医体(※1)は男女総合5連覇! 関業(※2)は男子総合優勝! 全日本歯歯獣医(※3)も男子総合優勝! と勝ち続けています! 西医体は医学科生だけ、関業は薬学部生だけ、全日本歯歯獣医は医学部も薬学部も出場できる大会です。これらの大会に向け、部員は日々練習に励んでいます。

「富山大学杉谷キャンパス陸上部」で、ぜひ検索してみてください! 少しでも気になった方! ぜひ陸上部を見に来てください! 部員一同お待ちしております!

※1 西日本医学生総合体育大会 ※2 関西薬学生体育大会 ※3 全日本歯歯獣医大学対抗陸上競技選手権大会

## 大道芸クラブ バイシクル

自由に楽しく  
のびのびと!



私たち大道芸クラブバイシクルは、「部員がやりたいことをやりたいように」をモットーに、各部員が自由にのびのび活動しています。そのため扱う道具は多岐にわたり、ボールジャグリングやバルーンアートなどのポピュラーなものはもちろん、一見大道芸とは無縁に見えるようなジャンルを開拓する部員も少なくありません。だからこそ、あなたに合った道具がきっと見つかります! そんな感じで、日々細々と、和気あいあいとした雰囲気の中練習に励んでいるのが我々バイシクルです。

大道芸という、やや特殊な活動であるため、大学で初めて大道芸に触れる部員も多くいます。そんなときには、個性豊かな先輩方や、経験豊富な仲間たちからアドバイスをもらったり、刺激し合うことで、少しずつ成長する喜びを実感できます。将来特技として宴会で披露することもできちゃう、大道芸の楽しさをぜひ一緒に味わいましょう!

## 理解力と表現力を糧に成長を



平成26年3月 人文学部 人文学科 卒業  
勤務先: 三島税務署  
はっとり たかし  
**服部 貴史**さん

私は富山大学人文学部で主に西洋哲学を学びました。4年間で印象深かったのはなんとといっても卒業論文制作です。17世紀のオランダで活動した哲学者スピノザの主著『エチカ』を扱いましたが、その難解さに苦しみました。その書物を前に、暗く深い森に彷徨い込んだ気分でした。それでもなお、自分なりに理解し自分の言葉で表現できるように、毎日1000字ずつ論文を書き進めたことをよく覚えています。哲学用語を思うように説明できず、悔しい思いをしたこともありましたが、最終的には満足のいく論文が出来たと思います。今でも、大学で勉強したこととして胸を張って話すことができます。

そんな私は名古屋国税局に採用され、現在は静岡県にある三島税務署に勤務しています。具体的には税務相談や電話対応、申請書などの入力事務を行っています。

数字というよりは言葉と向き合ってきた私ですが、仕事は会話が無ければ成立しません。とりわけ、聞き慣れない税務用語や税制度を納税者に分かりやすく説明するためには、理解力と表現力が必要です。私は、その力の下地は大学で学んだことから成っていると思っています。税務職員としてまだまだ未熟な私ですが、仕事を通してこの下地を基に成長していきたいと考えています。

大学は、理解することもできないような概念や理論と真剣に向き合うことのできる貴重な時間を与えてくれます。アルバイトやサークル活動も大切な経験ですが、その時間を有意義に活用してほしいと思います。それはおそろしくすぐに役に立つものではありませんが、きっと生涯、その人を形作るものであるはずですよ。

## HELLO

●各界で活躍する先輩からのメッセージ

## ハロー先輩

## 健康増進に貢献することを目標に



平成26年3月  
大学院理工学教育修士課程化学専攻 修了  
勤務先: 第一薬品工業株式会社 研究部  
おくたに かずひろ  
**奥谷 和寛**さん

私は富山大学大学院理工学教育修士課程化学専攻を修了し、現在は富山市にある第一薬品工業という医薬品メーカーに勤務しています。主な業務内容は私たちがドラッグストアで購入するような薬(錠剤や顆粒剤、液剤など)の製剤開発・設計及びスケールアップの検討・研究です。日々失敗の連続で先輩方に迷惑をかけることが多々ありますが、周りの方々に支えられ、助けられながら業務をこなしています。いつか自分が製剤開発設計した薬が製品として市販され、人々の健康増進に貢献できることを目標に頑張っています。

大学時代は野崎浩一教授と岩村宗高講師の下で希土類金属錯体の誘起円偏光発光について研究を行いました。先生方や他の学生と侃々諤々(かんかんかくかく)と意見を交わし合う日々は生涯忘れない貴重な経験です。休日は気分転換として陸上競技場に赴き、トレーニングや先輩の指導を行いました。陸上部は個性的で熱い部員が多かったため、良くも悪くも思い出深い経験をしました。大学時代の知己とは今でも交流が続いています。改めて思い返せば、私は先生、友人に非常に恵まれていたと思います。

大学生は社会人よりも自分のために使うことができる時間が遥かに多くあります。挑戦したいことがあるならば自分一人でも、友人を誘ってでも良いのでぜひ行動して欲しいと思います。大学時代に経験した事は例え失敗したことであっても必ず後々の自分の財産になります。富山大学で送った学生生活を思い返した時、「良かったな」と思えるような経験をたくさん得られることを願っています。

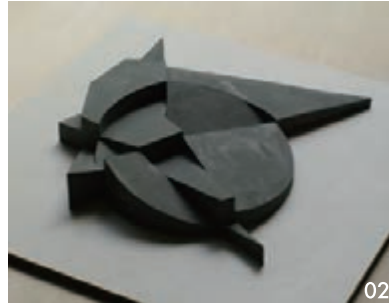


01 紙を使った立体造形作品。1枚の紙の中で1箇所のみ切り込みと2本の折り線を用いることを造形の条件とし行った課題。

02 粘土を使った立体造形作品。三角形・四角形・円の線図形が上面から見えることを条件に、交差面に高低差を付け、美しい立体物を制作する課題。

03 作品のプレゼンテーションと講評。履修者全員の作品をテーブルにならべ、他者の作品を鑑賞しながら制作のプロセスや多様な視点を共有する。

04 エッグドロップコンテスト。B3ケント紙1枚を用いて、落下の衝撃から生卵を守る「造形物」を制作する課題。目的を達成するための手段と方法についてデザインする課題として行った。学生自ら制作した作品を3Fから地上に落とし検証をする。検証に使った生卵は卵焼きにして履修者全員で味わった。



# TOM'S GALLERY

## 立体デザイン演習

デザインや工芸、建築などのクリエイティブな活動において、造形感覚を養うことはそれぞれの分野における表現力や発想力を広げるための重要な要素のひとつと考えます。この授業では、紙や粘土を用いて基礎的な立体造形のトレーニングを様々な課題を通して行います。課題を通して、バランスやリズム、構成や量感といった造形の要素を学ぶとともに、かたちと美しさの関係について理解を深めます。コンピューターを用いたデザインや造形活動が一般的になってきた今日において、素材と向き合う授業では手の感覚や物の見方の大切さについて見直す機会になると考えます。

(芸術文化学部 講師 内藤裕孝)



発行日：平成27年7月15日  
発行：国立大学法人 富山大学  
編集：トムズプレス専門部会

- 飯田 敏 大学院理工学研究部 教授
- 池田 真治 人文学部 准教授
- 南部 寿則 大学院医学薬学研究部 准教授
- 渡邊 雅志 芸術文化学部 准教授
- 早川 芳弘 和漢医薬学総合研究所 准教授

問合せ先：富山大学総務部広報課  
〒930-8555 富山市五福3190  
TEL076-445-6028  
FAX076-445-6063  
E-mail kouhou@u-toyama.ac.jp

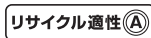
<http://www.u-toyama.ac.jp/>

Tom's Press はインターネットでもご覧いただけます。

本誌は、富山大学構内などで無料配布しています。郵送を希望される方は、住所・氏名・年齢・性別・職業を明記の上、メール又ははがきでお申し込みください。

本誌は、年4回、3ヶ月毎に発行します。ご意見、ご要望を是非お聞かせください。

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。環境に配慮した紙と植物油インクを使用しています。



無断転載はご遠慮ください。  
印刷・製本 株式会社チューエツ

ISSN 1880-6678

## Cover Story

### “レーザー物理学研究室” 理学部

富山大学五福キャンパス理学部のレーザー物理学研究室では、宇宙に存在する物質の研究・観測が行われています。

ここで使われている機械【通称：TuFIR（チューファー）】は6 THz（テラヘルツ）もの高い周波数を出す世界的にも珍しいものです。この機械によって宇宙の星と星の間にある軽い分子を観測することができます。

配線が縦横無尽に巡らされたジャングルのようなこの研究室が宇宙と繋がっていると思うと、時間と空間を超えた不思議な感覚を覚えます。

表紙担当／小野寺咲 多代春香

撮影／小泉巧（すべて芸術文化学部生）

表紙監修／芸術文化学部 准教授 渡邊雅志

